

## 平成30年度「学力・学習状況」検証事業研究成果報告書

八街市立笹引小学校

「わかる楽しさ」「できる喜び」を実感できる児童の育成

児童が自ら主体的に学習に取り組めるようにするために、本校では継続して、日々の授業のさらなる充実を目指していく。具体的には、児童が日々の授業を通して学習内容がわかる「充実感」を感じ、児童自ら自分の力でできた「達成感」が味わえる授業を積み重ねていくことが重要であると考え、本研究主題を設定した。

【学力向上のための取組 ～7本柱～】

- |                                     |              |              |
|-------------------------------------|--------------|--------------|
| ① 学力向上に向けた教育課程の工夫・改善                |              |              |
| ・計算スキルタイム                           | ・笹引タイム(算数補習) | ・読売ワークシートの導入 |
| ・読書タイム                              | ・ICTの活用      | ・NIE教育の推進    |
| ② 校内学力向上委員会の設立                      |              |              |
| ③ 児童の学習状況とリンクした校内研究の充実              |              |              |
| ④ 自己決定型習熟度別指導の充実                    |              |              |
| ⑤ 授業改善プランの活用                        |              |              |
| ⑥ 「ちょこっと研修」「実践報告」を核とした授業改善          |              |              |
| ⑦ 家庭学習リーフレット・家庭学習カードの改良と学校だよりにおける啓発 |              |              |

成果につながっていると考えられる取組としては、主に①と④があげられる。一昨年度より3年生～6年生の算数科の授業について、少人数指導を実施してきた。当初は、単純に学級を2つに分け、授業を行ってきた。昨年度からは、児童の実態や習熟度により即した指導の充実を図っている。具体的には、これから学ぶ学習内容の見通しを児童にもたせ、児童自らがコースを選択できるようにした。加えて、少人数指導を担当する教員と学級担任とが密に連携し、一人一人の学習状況を把握しながら、指導にあたるようにしている。その結果、「できてうれしいと感じることが多くなった」「少人数指導で以前よりもわかるようになった」と答えた児童の数値（学習アンケート）が上昇した。

また、本校では、火曜日6校時に5、6年生対象に笹引タイム（算数補習）を実施している。



＜笹引タイムの様子＞

全職員で5、6年生の指導にあたる時間を設定している。本年度より、算数の領域ごとにコースを設定し、児童が苦手と感じている領域を児童自らが選択できるようにした。その結果、児童の学習に取り組む意識が高まり、問題の解き方がわからない児童に教える姿や、より難しい問題に挑戦しようとする姿など、積極的な姿が多く見られた。「ちばっ子チャレンジ100」の問題を活用する等、問題作成の面でも工夫した。

さらに、読売ワークシートの活用などのNIEの取組やタブレット端末を活用した資料づくり等、児童が学習内容に対して、具体的でわかりやすい授業づくりにも日々努めている。今後も継続していきたい。

### 今後の課題

「家庭学習のさらなる充実」

「家庭学習カード」の効果もあり、以前に比べ家庭学習に取り組む児童の割合は増えたが、家庭によって取組の差が目立ってきている。引き続き保護者への啓発を図るとともに、授業参観の機会を増やし、子どもの学びの様子を直接見てもらうことによって、家庭学習に対する保護者の意識をより一層高めていきたい。